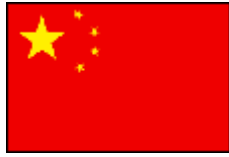


八王子国際フレンドからのメッセージ



中国



プロフィール

留学生

【韓 涛 (カン トウ)】

- 中国・河北省出身
- 好きな日本食 たこ焼など
- 趣味 読書、スポーツ観戦
- 日本在住 5年目
2007年3月

🍁 日本での暮らし紹介 🍁

皆さん、はじめまして。中国からの留学生の韓涛（カントウ）と申します。2002年9月に、中国の河北大学から交換留学生として八王子のある大学に留学しに来て、その後、三年生からそのまま編入し、今は同大学大学院国際協力研究科で言語学を学んでいます。

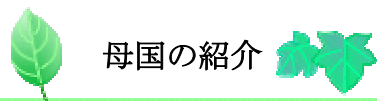
あっという間に日本で五回目の桜満開のシーズンを迎えようとなります。毎年、この時期になると、美しい桜を目当てに一般の見物客の中に混じって都内の花見の名所をぶらりと散策するのがもうすっかり私の楽しみとなりました。

しかし、来日当初は、こんなのんきな趣味どころか、言葉でさえろくに話すこともできませんでしたからね。そこから、毎日、いろいろな失敗や挫折を味わいながら、少しずつ成長してやっと今日まで来られたという感じでした。学校の先生や友人たち、そしてバイト先の皆をはじめ、本当にいろいろな方にお世話になりました。心から感謝しています。

ついこの間、ずっとやっていたアルバイトもやめ、今は修士論文に明け暮れる日々です。卒業後は、日本語にかかわる仕事に携わることが希望しており、中日友好のために、

微力ながら力を尽くしたいです。

では、これからは私の生まれ故郷、河北省の邯鄲（カンタン）についてご紹介したいと思います。



図で示されたように邯鄲市は、河北省の最南端に位置し、西には山西省、南に河南省、東に山東省と隣接しています（中国一の大動脈京広線（北京から広州まで全長 2,324Km）は邯鄲を通っています）。面積は 1.2 万平方メートル（約東京都の六個分）、人口は約 860 万人、1994 年に国の「国家・史文化名城」に指定されています。

邯鄲の名は春秋《穀梁伝》の中にすでに記されていて、3000 年の歴史を経ても邯鄲という名前は一度も変わったことがありません（さすがの邯鄲人の私もビックリです）。

かつて春秋時代、邯鄲は「晋」に属し、戦国時代は七雄（七国）の「趙」の都でした。ちなみに、あの有名な秦の始皇帝も邯鄲で生まれたのですよ（これはどうしても自慢したかったです）。もっと言えば、皆さんがよくご存知の「藍より出でし青は藍より青し」の言葉で有名な戦国時代末期の思想家の荀子も邯鄲人だそうですよ（本当に豪華な顔ぶれですね）。

また、日本の方にもお馴染みの「邯鄲の夢」（日本の伝統芸能である能の演目にもなっているのが皆さんご存知かな）や「邯鄲の歩み」などのことわざをはじめ、2000 近くの成句典故（うち多くは学校の教科書にも載せられていて、本当に普段から聞き慣れています）は邯鄲で生まれたため、「中国成句典故之都」とも称されています。さらに、邯鄲市の永年県は楊氏太極拳の発祥の地として世界にその名を馳せます。



こんな歴史古い邯鄲には、観光名所や歴史名所などを含めて 1000 以上の名所もあるそうですよ。こんな多くの文化遺産に恵まれた邯鄲に生まれてどうしても自慢したくてしょうがないですね。こんな私の気持ちを少しでもご理解していただければ幸せです。百聞は一見に如かず。歴史好きな方はもちろん、古い中国文化にご興味をお持ちの方は、ぜひ私の故郷邯鄲に一度足を運んでみては、いかがでしょうか。

そうだ。中国といえば、中華料理は避けられないですね。邯鄲は、その長い歴史の中で、特色のある食べ物もたくさんあるのですよ。今度また機会があれば、「邯鄲の名所巡り」と題して、邯鄲の美食も合わせて皆さんにご紹介したいと思います。

では、皆さん、今回はこの辺でまだ次回お会いしましょう。さようなら。